

	題名	時間 (分)	対象	内容
D617	ほうふほっとライン 国際周期表年特別展 ～世界の全ては元素でできている！～	20	一般	2019年は、周期率が発見されて150年になります。この年を国際周期表年として特別展を日本全国を巡回して開催しており、ソラールが最後の会場となりました。この特別展では、周期表の成り立ちから、元素発見まで周期表に関わる科学者の苦労や、日本人の新元素発見に至る(ニホニウム発見など)ストーリーが紹介されています。
D618	ほうふほっとライン 重源上人生誕900年 ～重源上人と阿弥陀寺～	20	一般	今年は、重源上人 生誕900年の節目の年にあたります。防府に与えた影響は大きく、主に鑄造技術が継承されました。そんな重源上人の偉大さと人間らしさが垣間見える、人となりを見ていきます。
D619	ほうふほっとライン 重源上人生誕900年 ～阿弥陀寺の文化財～	20	一般	防府市には東大寺別院阿弥陀寺があります。こちらの宝物館に納められている重源上人にまつわる国宝や、月に一度行われる岩風呂の様子を紹介します。
D620	ほうふほっとライン 重要文化財 旧毛利家本邸(前編)	20	一般	旧毛利家本邸は、重要文化財に指定されて、今年で10年になります。大正時代という近代の特徴を持った建築物で、ここは、お殿様のお家として建築されました。全室、電気を設置、シャンデリアやペンダントなどの図案は和風にデザインされています。また、天井を高くして風通しをよくし、二階からの眺めを重視した庭が観られるといった、お客様を迎えられる建物となっています。
D621	ほうふほっとライン 重要文化財 旧毛利家本邸(後編)	20	一般	毛利家本邸がなぜ、防府に建てられたのか？当時、家憲(お家の憲法)において、本拠地は、山口県内に置く。選ぶ際のポイントは、土地健康にして、海陸交通便利な地を選ぶというものでした。そこで選ばれたのが防府の地でした。そんな毛利家本邸の現代にも通じる設備などを見ることが出来ます。また、画像堂(毛利元就以下、先代の毛利家当主に至までの19名の肖像画を納めている)も紹介しています。
D622	ほうふほっとライン がんばれセルビア！ ありがとうセルビア！	20	一般	7/16から東京オリンピック2020開催までの一週間、防府市はセルビア女子バレーボールチームのホストタウンとして、お出迎えしました。選手達の合宿の様子と、防府市全ての小中学校で提供されたセルビア給食の紹介をしています。その後生徒たちは、セルビア共和国の文化や歴史を学びました。また、今回の立役者で、もと駐セルビア大使、現日本セルビア協会会長 長井忠さんは高校まで防府市で過ごされており、セルビアと防府市に縁があったことの喜びをお話されています。セルビア女子バレーボールチームは、東京オリンピック2020において、銅メダルを獲得しました。
D623	ほうふほっとライン 新人選手デビュー	20	一般	今年7月、日本競輪選手会山口支部から4人の選手(阿部龍也・山崎 航・渡口勝成・松本 ちひろ)がデビューしました。この4選手それぞれに、お話を聞きました。
D624	ほうふほっとライン 英雲荘 オンライン観月会 ～ダイジェスト版～	20	一般	9月21日の中秋の名月の日に英雲荘にて、インターネットの生配信によるオンライン観月会が行われました。英雲荘は藩主の休憩や宿泊をする施設で、江戸時代の参勤交代の際の萩城の表玄閣として、又、毛利家の公の茶屋として建てられました。この英雲荘の庭園で発掘された池の全貌や、市長や議員の方々の俳句の披露、優雅で風流な雅楽の演奏、そして篠笛と電子ピアノによる演奏と舞等、色々な催しをダイジェスト版でご紹介しています。
D625	ほうふほっとライン ほうふのどんぐり ～紅葉どんぐり便～	20	一般	毎年、ソラールとFMわっしょいの共催で、沖縄に紅葉した葉っぱとどんぐりを届けています。現在では、沖縄の小学校80校に配られて紅葉とどんぐりの授業が行われているようです。この紅葉どんぐり便を始めたきっかけやソラールの敷地内で取れる4～5種類のどんぐりの紹介、きれいな紅葉、虫や芽の出ないどんぐりの処理の仕方なども説明をしています。

